

科目	マナー実践	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として必要なマナーや社会常識、実務知識を秘書業務の学習を通じて習得する。 本授業は表現学科の学習成果(4)に該当する。		
到達目標	社会人として求められる基本的な仕事のしかた、態度・振る舞い・言葉遣いができる。 職場におけるマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。		
学習成果の 評価基準	達成目標の達成度を測るため、授業内課題、達成度確認テストを実施評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション(授業の流れと達成目標) 第1章 必要とされる資質(秘書の心構え)	教科書を読む(予習30分)社会人に必要な自覚と心構えを考える(復習30分)	
2.	第1章 必要とされる資質(秘書に必要な能力)	教科書を読む(予習30分)秘書に必要な能力をまとめる(復習30分)	
3.	第2章 職務知識	教科書を読む(予習30分)秘書の職務範囲をまとめる(復習30分)	
4.	第3章 一般知識	教科書を読む(予習30分)関連用語を覚える(復習30分)	
5.	第3章 一般知識	教科書を読む(予習30分)経済・時事用語を覚える(復習30分)	
6.	第4章 マナー・接遇(人間関係と話し方・聞き方)	教科書を読む(予習30分)上手な聞き方・話し方のポイントをまとめる(復習30分)	
7.	第4章 マナー・接遇(話し方と聞き方の応用)	教科書を読む(予習30分)報告・連絡のしかたを練習する(復習30分)	
8.	第4章 マナー・接遇(敬語と接遇用語)	教科書を読む(予習30分)敬語の使い方をまとめる(復習30分)	
9.	第4章 マナー・接遇(電話対応)	教科書を読む(予習30分)電話対応を練習する(復習30分)	
10.	第4章 マナー・接遇(来客対応)	教科書を読む(予習30分)案内のしかた、席次を覚える(復習30分)	
11.	第4章 マナー・接遇(社交業務)	教科書を読む(予習30分)慶事・弔事の対応をまとめる(復習30分)	
12.	第4章 マナー・接遇(社交業務)	教科書を読む(予習30分)慶弔に合った上書きを書く(復習30分)	
13.	第5章 技能(ビジネス文書)	教科書を読む(予習30分)ビジネス文書を書く(復習30分)	
14.	第5章 技能(ビジネス文書)	教科書を読む(予習30分)内容にあったグラフを作成する(復習30分)	
15.	達成度確認テスト	教科書を読む(予習30分)前期の達成度を確認する(復習30分)	
教科書	秘書検定2級クイックマスター 秘書検定実問題集2級		
参考書			
学習成果の 評価方法	達成度確認テスト(50%) 授業態度(30%) 授業内課題(20%)		
特記すべき 事項	担当者は一般企業にて社長秘書6年、マナー講師18年の実務経験を有しています。		
質問・相談等 の受付	質問・相談については、授業終了後に授業場所で受け付ける。		

科目	マナー実践	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として必要なマナーや社会常識、実務知識を秘書業務の学習を通じて習得する。マナー実践1で学んだ基礎知識を踏まえて、より実践的な状況対応能力を身につける。 本授業は表現学科の学習成果(4)に該当する。		
到達目標	社会人として求められる基本的な仕事のしかた、態度・振る舞い・言葉遣いができる。 職場におけるマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。 秘書検定2級を取得する。		
学習成果の評価基準	達成目標の達成度を測るため、授業内課題、達成度確認テストを実施評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	第5章 技能(会議における秘書の役割)	教科書を読む(予習30分)会議用語と形式を覚える(復習30分)	
2.	第5章 技能(文書の取り扱い)	教科書を読む(予習30分)文書の発信・受信の注意点をまとめる(復習30分)	
3.	第5章 技能(文書・資料管理)	教科書を読む(予習30分)ファイリング・整理用具を覚える(復習30分)	
4.	第5章 技能(日程管理、環境整備)	教科書を読む(予習30分)スケジュール表を作成する(復習30分)	
5.	第5章 まとめ	教科書を読む(予習30分)定着を図るため第5章の復習をする(復習30分)	
6.	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
7.	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
8.	総合演習(出張コーディネートとお礼状)	教科書を読む(予習30分)お礼状を書く(復習30分)	
9.	総合演習(交際業務)	教科書を読む(予習30分)定着を図るため慶弔の復習をする(復習30分)	
10.	総合演習(訪問・来客対応)	教科書を読む(予習30分)案内・訪問のポイントを練習する(復習30分)	
11.	総合演習(言葉遣い・電話対応)	教科書を読む(予習30分)かけ方・受け方の練習をする(復習30分)	
12.	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
13.	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
14.	1年間のまとめ	教科書を読む(予習30分)1年間の総復習をする(復習30分)	
15.	達成度確認テスト	教科書を読む(予習30分)1年間の達成度を確認する(復習30分)	
教科書	秘書検定2級クイックマスター 秘書検定実問題集2級		
参考書			
学習成果の評価方法	達成度確認テスト(50%) 授業態度(30%) 授業内課題(20%)		
特記すべき事項	担当者は一般企業にて社長秘書6年、マナー講師18年の実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付	質問・相談については、授業終了後に授業場所にて受け付ける。		

科 目	キャリア実践論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	キャリア実践 の事前学習として位置づける。職種や業種について研究するとともに、自身の進路における方向性を考える。本授業は表現学科の学習成果（5）に該当する。		
到達目標	早期から自身のキャリアを考えることにより、進路目標の設定や方向性を明確にし、計画的な進路設計をたてることができる。		
学習成果の 評価基準	自身の目標進路における現状把握や情報収集により評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	キャリアとは キャリアについて、概念や価値観の説明	予習：キャリアとは（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	自己分析 適性診断	予習：自己分析について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	社会人基礎力の説明	予習：社会人基礎力について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	職種研究	予習：職種研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	業界研究	予習：業界研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	訪問先選択 訪問先の選択と内容の検討	予習：訪問先の検討について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	訪問先研究 訪問先企業について下調べをする	予習：訪問先研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	事前研修 守秘義務やマナー、服装など	予習：事前研修について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .			
10 .			
11 .			
12 .			
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	受講態度（40%）、授業内課題および提出物（60%）		
特記すべき 事項	キャリア実践 の履修予定者のみ受講可		
質問・相談 の 受 付	授業内、メール、対面、いずれも可		

科 目	キャリア実践論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	キャリア実践 の事前学習として位置づける。より具体的な進路活動へ向けて内容を深め、更なる自身の進路における方向性を考える。 本授業は表現学科の学習成果（5）に該当する。		
到達目標	自身のキャリアを考えることにより、進路目標の設定や方向性を明確にし、計画的な進路設計をたてることができる。		
学習成果の 評価基準	自身の目標進路における現状把握や情報収集により評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	就職とは 就職について、概念や流れの説明	予習：就職について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	自己分析 履歴書作成、リフレーミング	予習：自己分析について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	訪問先選択 訪問先の選択と内容の検討	予習：訪問先について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	訪問先研究 訪問先企業について下調べをする	予習：訪問先について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	説明会 合同説明会の体験	予習：合同説明会について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	職種研究 人事部長になって採用したい人物を考える	予習：職種研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	求人票 求人票のみかた	予習：求人票について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	事前研修 守秘義務やマナー、服装など	予習：企業へのマナー・服装について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .			
10 .			
11 .			
12 .			
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	受講態度（40%）、授業内課題および提出物（60%）		
特記すべき 事項	キャリア実践論 ・ キャリア実践 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	授業内、メール、対面、いずれも可		

科目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1年前期集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	事業所に出向き、3日間の就業体験を行う。 本授業は表現学科の学習成果(8)に該当する。		
到達目標	就業体験により、業務内容や適性を知って当事者意識を高める。また社会人の仕事に対する価値観などについて学ぶ。		
学習成果の 評価基準	就業体験での情報収集や経験値により評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
2.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
3.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
4.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
5.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
6.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
7.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
8.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
9.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
10.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
11.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
12.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
13.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
14.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
15.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	就業体験先からの評価(50%)、課題および提出物(50%)		
特記すべき 事項	キャリア実践論 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の受付	メール、対面、いずれも可		

科目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1年後期集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	事業所に出向き、5日間の就業体験を行う。 本授業は表現学科の学習成果(8)に該当する。。		
到達目標	就業体験により、業務内容や適性を知って進路への方向性を明確にする。また社会人の仕事に対する価値観などについて気づきを深める。		
学習成果の評価基準	就業体験での情報収集や経験値により評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
2.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
3.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
4.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
5.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
6.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
7.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
8.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
9.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
10.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
11.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
12.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
13.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
14.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
15.	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の評価方法	就業体験先からの評価(50%)、課題および提出物(50%)		
特記すべき事項	キャリア実践論 ・ キャリア実践 ・ キャリア実践論 履修生のみ受講可		
質問・相談等の受付	メール、対面、いずれも可		

科 目	ビジネス情報	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチタイピングのスキルアップ、ビジネス文書の作成と編集、パソコンやネットワーク等の知識を学ぶ。 ・Wordによって基本的なビジネス文書の作成と編集をいかに効率良く行うかを学ぶ。 ・本授業は表現学科の学習成果(2)に対応する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本商工会議所の日商PC検定「文書作成」3級全員の合格を達成し、必要に応じて効率よくビジネス文書を作成できる。 ・企業実務に必要とされる基本的なIT・ネットワークの知識、スキルを身につけ、業務に利活用することができる。 		
学習成果の 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングの習熟度を測るために、定期的にタッチタイピング進捗記録のレポート提出で評価する。 ・到達目標の達成度を測るために、授業内課題のデータ提出の完成度により評価する。 ・本試験は、知識試験が15分、実技試験が30分となっており、実技、知識共に70%以上の正解率で合格となる。 		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	文字入力スピードと正確さを確認 情報処理各分野に「共通」の知識 ・ハードウェア・ソフトウェア、ネットワーク	予習30分：タイプクイックの記録 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
2 .	情報処理各分野に「共通」の知識 ・ネット社会における企業実務、ビジネススタイル	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
3 .	情報処理各分野に「共通」の知識 ・電子データ、電子コミュニケーションの特徴と留意点	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
4 .	情報処理各分野に「共通」の知識 ・デジタル情報、電子化資料の整理・管理	予習30分：知識問題の不明点書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
5 .	情報処理各分野に「共通」の知識 ・電子メール、ホームページの特徴と仕組み	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
6 .	情報処理各分野に「共通」の知識 ・情報セキュリティ、コンプライアンスに関する基本的な知識	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
7 .	「文書作成」3級レベルの知識 ・社内、社外文書の種類と雛型 ・文書管理（ファイリング、共有化、再利用）	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
8 .	「文書作成」3級レベルの知識 ・ビジネス文書作成上の日本語力（文法、表現法、他） ・文書表現、文書校正の基本、文書関連のビジネスマナー	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
9 .	模擬試験演習 1 ・知識問題「共通」全問解答練習 ・知識問題「文書作成」全問解答練習	予習30分：知識問題の不明点を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
10 .	模擬試験演習 2 ・知識：問題の質疑応答 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
11 .	模擬試験演習 3 ・知識：問題の質疑応答 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
12 .	模擬試験演習 4 ・知識：問題の質疑応答 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
13 .	模擬試験演習 5 アンケート調査 ・知識：問題の質疑応答 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
14 .	模擬試験演習 6 ・知識：問題の質疑応答 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
15 .	模擬試験演習 7 ・知識：問題の質疑応答 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 : FOM出版 ・よくわかるマスター 改訂版 日商PC検定試験 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成 3級 知識科目 公式問題集 : FOM出版 		
参考書	特になし		
学習成果の 評価方法	受講態度(20%) 授業内課題(40%) 模擬問題(40%)		
特記すべき 事項	タイピングは日々自分自身で記録し習熟度を把握し更に記録を伸ばすこと。 知識問題も、実技問題も、教科書を繰り返し解くことで合格に繋がる。		
質問・相談等 の受付	授業期間中は、授業時間の前後でも受け付けます。		

科 目	日本語表現法 (情報デザインコース)	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	授業概要の説明・自己紹介	教科書を読んでおく	
2 .	「話す」「聞く」「書く」「読む」の理解	教科書を読んでおく	
3 .	呼吸と発声・発音	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4 .	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5 .	「カ行」「ガ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6 .	「サ行」「ザ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7 .	「タ行」「ダ行」「ナ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8 .	「ハ行」「バ行」「パ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9 .	「マ行」「ヤ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10 .	「ラ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11 .	「ワ行」「撥音」「促音」「拗音」について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12 .	文章を読む	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	「日本語の発声レッスン」		
参考書	「NHKアクセント辞典」		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、授業内発表50%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科 目	日本語表現法 (情報デザインコース)	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。 より多くの人に自分の意思を表現できるように、的確な音声表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「外郎売」を総合的な評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
2 .	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
3 .	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4 .	イントネーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5 .	イントネーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6 .	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7 .	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8 .	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9 .	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10 .	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11 .	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12 .	外郎売テスト	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	「日本語の発声レッスン」		
参考書	「NHKアクセント辞典」		
学習成果の 評価方法	受講態度30%、授業内発表30%、外郎売40%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談 の 受 付			

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	筑後市の課題解決に向けたアイデア出しを行います。事前に課題（温泉、鉱泉、空き家など）を提示してもらい、課題に取り組みます。 5人程度のグループに分かれフィールドワークを行い、課題解決に向けたアイデアをまとめ資料を作成、プレゼンテーションを行います。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（8）に対応する。		
到達目標	課題解決に向けた社会体験、経験により主体的に課題解決を考察する思考力を身につける。 多様な人々と協働して課題解決に取り組む汎用的な能力・態度・共感性を身につける。（多様性） チームで協力しながら課題解決に取り組む協働性を身につける。		
学習成果の評価基準	課題解決に向けたプレゼンテーションを通して、課題を考察する思考力を評価する。 多様な人々と課題解決に向けた取り組み姿勢から汎用的な能力・態度・共感性、協働性を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション・フィールドワークとは？ 自己分析	予習：筑後市概要調査（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
2 .	オリエンテーション・フィールドワークとは？ 課題読み込み、現地見学	予習：筑後市概要調査（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
3 .	筑後市で課題収集・グループ分け 【筑後市役所】 フィールドワークとは	予習：資料を読み込む（60分） 復習：課題への取り組み（60分）	
4 .	筑後市で課題収集・グループ分け 【筑後市役所】 課題プレゼン	予習：資料を読み込む（60分） 復習：課題への取り組み（60分）	
5 .	フィールドワーク 行動（リサーチ）計画作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
6 .	フィールドワーク	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
7 .	フィールドワーク	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
8 .	フィールドワーク	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
9 .	スライド資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
10 .	スライド資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
11 .	学内中間発表	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
12 .	グループワークとは	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
13 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
14 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
15 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）プレゼンテーション（60%）		
特記すべき事項	本科目は、学外グループワークを主とする。現地までの交通手段、ネット環境等は各自準備すること。		
質問・相談等の受付			

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	筑後市の課題解決に向けたアイデア出しを行います。事前に課題（温泉、鉱泉、空き家など）を提示してもらい、課題に取り組みます。 5人程度のグループに分かれフィールドワークを行い、課題解決に向けたアイデアをまとめ資料を作成、プレゼンテーションを行います。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（8）に対応する。		
到達目標	課題解決に向けた社会体験、経験により主体的に課題解決を考察する思考力を身につける。 多様な人々と協働して課題解決に取り組む汎用的な能力・態度・共感性を身につける。（多様性） チームで協力しながら課題解決に取り組む協働性を身につける。		
学習成果の評価基準	課題解決に向けたプレゼンテーションを通して、課題を考察する思考力を評価する。 多様な人々と課題解決に向けた取り組み姿勢から汎用的な能力・態度・共感性、協働性を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
17 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
18 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
19 .	学外中間発表・フィードバック 【筑後市役所】	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
20 .	学外中間発表・フィードバック 【筑後市役所】	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
21 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
22 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
23 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
24 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
25 .	フィールドワーク、資料作成	予習：発表準備（30分） 復習：資料の読み返し（30分）	
26 .	フィールドワーク、資料作成	予習：発表準備（30分） 復習：資料の読み返し（30分）	
27 .	学外期末発表・評価 【筑後市役所】	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
28 .	学外期末発表・評価 【筑後市役所】	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
29 .	全体まとめ、振り返り	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
30 .	全体まとめ、振り返り	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）プレゼンテーション（60%）		
特記すべき事項	本科目は、学外グループワークを主とする。現地までの交通手段、ネット環境等は各自準備すること。		
質問・相談等の受付			

科目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	<p>筑後の魅力 で考案した課題解決案、アイデアを数点に絞り、実施に向けた具体的検討をおこないます。（広報観点での検討、アイデアの言語化、コンテンツ制作、情報発信）</p> <p>中間、期末時期に地域に対し「アイデアコンテスト」を実施、ステークホルダーからの意見を聞きブラッシュアップ、課題解決案をより具体的なものに更新します。</p> <p>本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（3）に対応する。</p>		
到達目標	<p>『筑後の魅力 』で作成されたアイデアの情報を分析、整理し、問題解決に向けた思考ができる。（思考力）</p> <p>アイデアを具現化するための言語化やコンテンツ制作ができる。（技能）</p> <p>フィールドワークを通して、社会人やグループの学生とコミュニケーションをとり課題に取り組むことができる。（協働性）</p>		
学習成果の評価基準	<p>相手に分かり易く、実現可能なプレゼンテーションができたか、思考力と技術を評価する。</p> <p>多様な人々と課題解決に向けた取り組み姿勢から協働性を評価する。</p>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション・アイデア案の精査・グループ分け 【筑後市役所】	予習：事前調査（60分） 復習：授業の振り返り（60分）	
2.	オリエンテーション・アイデア案の精査・グループ分け 【筑後市役所】	予習：事前調査（60分） 復習：授業の振り返り（60分）	
3.	（実態調査）筑後市総合計画、議会議事録から学ぶ	予習：事前調査（60分） 復習：授業の振り返り（60分）	
4.	（実態調査）筑後市総合計画、議会議事録から学ぶ	予習：事前調査（60分） 復習：授業の振り返り（60分）	
5.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
6.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
7.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
8.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
9.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
10.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
11.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
12.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツの作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
13.	学外中間発表・フィードバック	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
14.	学外中間発表・フィードバック	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
15.	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）プレゼンテーション（60%）		
特記すべき事項	本科目は現地調査（フィールドワーク）を含みます。現地への交通手段は各自手配すること。		
質問・相談等の受付			

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	筑後の魅力 で考案した課題解決案、アイデアを数点に絞り、実施に向けた具体的検討をおこないます。（広報観点での検討、アイデアの言語化、コンテンツ制作、情報発信） 中間、期末時期に地域に対し「アイデアコンテスト」を実施、ステークホルダーからの意見を聞きブラッシュアップ、課題解決案をより具体的なものに更新します。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（3）に対応する。		
到達目標	『筑後の魅力 』で作成されたアイデアの情報を分析、整理し、問題解決に向けた思考ができる。（思考力） アイデアを具現化するための言語化やコンテンツ制作ができる。（技能） フィールドワークを通して、社会人やグループの学生とコミュニケーションをとり課題に取り組むことができる。（協働性）		
学習成果の評価基準	相手に分かり易く、実現可能なプレゼンテーションができたか、思考力と技術を評価する。 多様な人々と課題解決に向けた取り組み姿勢から協働性を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
17 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
18 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
19 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
20 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
21 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
22 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
23 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
24 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
25 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
26 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
27 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
28 .	フィールドワーク、アイデアの言語化作業、コンテンツのブラッシュアップ	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
29 .	学外期末発表・評価【筑後市役所】	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
30 .	学外期末発表・評価【筑後市役所】	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）プレゼンテーション（60%）		
特記すべき事項	本科目は現地調査（フィールドワーク）を含みます。現地への交通手段は各自手配すること。		
質問・相談等の受付			

科 目	表現の世界	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	日下部 信・宇佐川桂吾・坂川和彦・井上嘉人・梅野智美・河本章宏	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	表現学科専任教員による連続授業。 各専門分野より、表現に関する概念や方法論を学び、考察を深める。 また、実践的アプローチをおこない、自らの表現力をより研鑽する。 本授業は表現学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	各分野の表現形態に触れ、各授業の魅力を自分の言葉や身体で表現できる。 また、自分が欲する表現意欲について取り組むことができる。		
学習成果の 評価基準	表現に関する積極的な取り組み、発表を授業態度の評価とする。 また、授業内の表現課題をデザインし、発表することで思考力と表現力を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	自分を表現する絵本セラピー 【梅野】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2 .	自分を表現する絵本セラピー 【梅野】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3 .	自己紹介・シアターゲーム(遊びながら心と身体の緊張を解く)【河本】	予習：ウォーミングアップをおこなう(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4 .	自分の声と身体を知り、自身の魅力を表現する【河本】	予習：ウォーミングアップをおこなう(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5 .	自分自身のスピーチ原稿を作る。内容と表現方法を考察する【河本】	予習：原稿内容を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6 .	スピーチ発表をおこない、表現力を養う【河本】	予習：内容を確認する(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7 .	劇場表現・大谷講堂案内作成 (施設説明～担当分け～資料作成)【井上】	予習：講堂を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8 .	劇場表現・大谷講堂案内作成 (資料作成～成果発表)【井上】	予習：講堂を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9 .	アナログ表現とデジタル表現の違い【坂川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10 .	表現と著作権【坂川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11 .	AIの進化とその使い方の注意点、ポイントを整理しアイデアをより深める【宇佐川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12 .	AIの活用法 テキスト表現、画像表現、動画表現を使ってアイデアを形にする【宇佐川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13 .	短編シナリオをつくって表現する～場所、時期、人物、人物関係を考える～【日下部】	予習：構想を練る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14 .	登場人物のコミュニケーションの役割と意味を掴む【日下部】	予習：作品を準備する(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15 .	まとめ		
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業内課題50%、レポート50%		
特記すべき 事項	複数の教員によるリレー形式の科目のため、順不同。変更日程は決定後に連絡する。		
質問・相談 の 受 付			

科目	文章表現学	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	<p>基礎的文章力を身につけることに加え、文章表現の自由度について考察する。 また思考力、判断力をもとに、多様な文書執筆を経て、社会にコミットする表現性を醸成する。 本授業は表現学科の学習成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<p>序論・本論・結論の構造を持った文章を書くことができる。 また、主体的に語彙を用い、自分ならではの文章を組み立てることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>単元に応じた課題についてレポートを提出する。</p>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション 文章ワーク「今日の一と云」「モーニングページ」	予習：大学の授業について(30分) 復習：授業振り返り(30分)	
2.	接続詞が世界を紡ぐ 順接・逆接の組み合わせを考える	予習：ノートの取り方について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
3.	三段法の習得 日本語の罫を知る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
4.	名文に倣う 音読による効能を習得する	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
5.	五感を利用し、表現する	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
6.	要約のレッスン 割愛の精神を持つ	予習：要約文を作ってみる(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
7.	推敲における修正の考察	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
8.	的を立て、思考のアプトブット力を磨く ～思い、共感、希望、警鐘～	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
9.	形式1：エッセーを書く	復習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り	
10.	形式2：メール文書を書く	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
11.	形式3：会議に強い書類作成をおこなう	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
12.	形式4：レポートの書き方を学ぶ	予習：文章を書いておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
13.	原稿枚数によって組み立てを変える	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
14.	形式5：短歌への招待	予習：文章を書いておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
15.	文章づくりに関するまとめ	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題：60% レポート：40%		
特記すべき事項	劇作家・ライターとして20年以上の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	Classroom利用。		

科目	日本語概説	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	桐生直代	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	日本語の基本的な構造や体系についての知識を学び、理解を深めていきます。このように言うと、難しく感じるかもしれませんが、「私は」の「は」は、なぜ「wa」と発音するのでしょうか？日本語にはどうしているいろいろな方言があるのでしょうか？等々、当たり前のように使っている日本語がどのようなものかを見直し、新たに知る機会にしていきます。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応します。		
到達目標	【知識・理解の観点】日本語の構造・性質に関する知識を身に付け、説明することができる。 【技能の観点】学んだことを身近な問題として捉え、説明することができる。 【態度の観点】日本語への興味関心を深め、ディスカッションや発表に意欲的に参加し、他者の意見を尊重し自分の意見を述べるることができる。		
学習成果の評価基準	学期末試験(60%) 課題(30%) 受講態度(10%)		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	予習：シラバスを読む 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
2.	音声・音韻1 母音と子音	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
3.	音声・音韻2 アクセント	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
4.	文字・表記1 日本語の表記の特色	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
5.	文字・表記2 漢字	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
6.	文字・表記3 平仮名・片仮名	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
7.	文字・表記4 ローマ字	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
8.	語彙1 語彙	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
9.	語彙2 敬語	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
10.	語彙3 位相	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
11.	語彙4 役割語	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
12.	方言1 方言	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
13.	調査発表	予習：発表の準備をする(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
14.	8~14のまとめ	予習：配付資料を読む(2時間) 復習：授業内容をまとめる(2時間)	
15.	全体のまとめ	予習：疑問点をまとめる(2時間) 復習：試験に備えてまとめる(2時間)	
教科書	なし。プリントを配付します。		
参考書	授業のなかで適宜紹介します。		
学習成果の評価方法	受講態度(10%) コメントカード(30%) 定期試験(60%)		
特記すべき事項	調べてきたことを発表したり、グループディスカッションを取り入れたりする場面があります。積極的な参加を期待します。		
質問・相談等の受付	授業前後の空き時間、Gmailで受け付けます。		

科 目	読書と豊かな人間性	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	豊かな人間性を育てる読書生活のために、発達段階に応じた読書教育の理念と方法の理解を図る。また、「言葉」による表現で読書に親しむための実技を学ぶ。 本授業は表現学科の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	発達段階に応じた読書の違いに振れ多様化する読書資料の活用ができるようになる。また、絵本の選定や読み聞かせの手法を学び、コミュニケーションを取りながら人前で読み聞かせ等ができるようになる。		
学習成果の評価基準	到達目標にしている、発達段階に応じた読書資料の活用の達成度及び絵本の読み聞かせの実技、到達度確認テスト(期末レポート)を実施し評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	読書の意義と目的について	予習：なぜ読書をしなければならないのか(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
2 .	読書能力の発達について	予習：さまざまなリテラシーについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
3 .	読書興味の発達について	予習：発達段階よっての読書を考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
4 .	読書興味の発達段階について	予習：就学時までの読書について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
5 .	読書興味の発達段階について	予習：小学低学年の読書を考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
6 .	読書興味の発達段階について	予習：小学校高学年の読書を考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
7 .	読書興味の発達段階について	予習：中高年生以上の読書を考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
8 .	読書の導入的な指導	予習：環境整備について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
9 .	読書体験表現・交流について	予習：自分の読書体験について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
10 .	公共図書館と学校図書館の連携	予習：公共図書館と学校図書館の連携を考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
11 .	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる(理論)(1)	予習：いろいろなジャンルの絵本を読む(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
12 .	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる(理論)(2)	予習：いろいろなジャンルの絵本を読む(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
13 .	絵本の読み聞かせを実演し、読み手と聞き手の関係性を学ぶ(実技)	予習：読み聞かせの練習(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
14 .	絵本の読み聞かせを実演し、絵本のめくり方、間の取り方、終わり方などを学ぶ(実技)	予習：読み聞かせの練習(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
15 .	授業総括	予習：今までの授業内容を振り返る(120分) 復習：今までの授業を振り返る(120分)	
教科書	『新版読書と豊かな人間性』朝比奈大作ほか/放送大学教育振興会		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度(10%) 定期試験(60%) 授業内発表(30%) 到達度確認テストを実施後、フィールドバックします。		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	情報資源組織論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	多様かつ多量の情報資源のひとつひとつを、図書館の情報資源全体に一体化させ、利用者が探しやすく、図書館側も管理しやすいように位置づける情報資源組織法について、目録法と分類法を中心に学習する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	分類と目録を中心にして、図書館が所蔵する情報資源の組織法について理解し、演習科目につなげる。 司書業務の一つとして情報資源の組織の意義を理解し、図書館サービスとして活かせるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業内で確認小テストを行う。 情報資源組織全般についての定期試験		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	情報資源組織化の意義と理論	予習：教科書p6～11を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
2 .	書誌コントロールと標準化	予習：教科書p12～17を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
3 .	書誌記述法	予習：教科書p18～23を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
4 .	日本目録規則(1)	予習：教科書p24～29を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
5 .	日本目録規則(2)	予習：教科書p30～37を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
6 .	主題分析の意義と考え方	予習：教科書p38～43を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
7 .	主題分析と索引法	予習：教科書p44～49を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
8 .	基本件名標目表	予習：教科書p50～55を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
9 .	主題分析と分類法	予習：教科書p56～61を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
10 .	日本十進分類法	予習：教科書p62～69を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
11 .	教科書p62～69	予習：教科書p70～75を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
12 .	教科書p70～75	予習：教科書p70～75を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
13 .	ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ	予習：教科書p82～87を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
14 .	多様な情報源の組織化	予習：教科書p88～93を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
15 .	展望とまとめ	予習：教科書p94～101を読む(60分) 復習：プリントと合わせて復習(60分)	
教科書	『情報資源組織論』榎本由希子ほか 学文社		
参考書	適宜プリント配布		
学習成果の 評価方法	受講態度:10% 授業内小テスト:30% 定期試験:60%		
特記すべき 事項	司書資格必修		
質問・相談等 の 受 付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	図書館情報学概論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館の成り立ちからその存在意義、支える法体系や行政機関、類縁機関や関連業界との関わり等、広く情報提供機関、生涯学習機関としての図書館について学ぶ。また、日本の図書館の現状と問題点を考察し、これからの図書館を考える。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	図書館を成り立たせている基本的な事を理解できる。 図書館の意義と必要性を理解し、説明できる。 図書館が抱える問題点に向き合うことができる。		
学習成果の評価基準	授業内課題で單元ごとの理解度チェック 定期試験で、授業を踏まえて図書館についてどう考えるかを問う		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	図書館の現状と動向	予習：教科書p6~11を読む(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
2.	図書館の構成要素と機能および図書館サービス	予習：教科書p12~17(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
3.	図書館の業務モデル	予習：教科書p18~23(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
4.	図書館の社会的意義	予習：教科書p24~31(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
5.	文化を伝承し保存する図書館	予習：教科書p32~37(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
6.	公共図書館の成立と展開	予習：教科書p38~43(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
7.	わが国における公共図書館の成立と発展	予習：教科書p44~49(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
8.	わが国における公共図書館政策の展開	予習：教科書p50~55(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
9.	図書館の種類と利用者(1)	予習：教科書p56~61(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
10.	図書館の種類と利用者(2)	予習：教科書p62~67(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
11.	図書館の類縁機関と図書館関連団体	予習：教科書p68~73(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
12.	図書館とライブラリアンシップ	予習：教科書p74~79(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
13.	知的自由と図書館	予習：教科書p80~85(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
14.	図書館の課題	予習：教科書p86~91(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
15.	展望とまとめ	予習：教科書p92~99(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
教科書	『図書館の基礎と展望』二村健 学文社 『図書館情報学基礎資料』今まど子 樹村房		
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題：30% 定期試験：70%		
特記すべき事項	司書資格必修		
質問・相談等の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	図書館サービス概論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館サービスの意義と基本を学ぶ。これからの図書館が情報提供機関として社会的な役割を果たすためには、従来のサービスに加え新たな視点が求められている。図書館サービスに欠かせない「言葉」。言葉でのコミュニケーションの重要性を確認しこれからの図書館サービスの活性化に向けて総合的に学ぶ。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	図書館が情報提供機関として社会的な役割を果たすサービスについての知識を修得できるようになる。司書に必要な人と人との言葉を通してのコミュニケーションの重要性が理解できるようになる。		
学習成果の評価基準	到達目標に明示している、図書館における情報提供機関としてサービス、人とのコミュニケーションの重要性の理解を測るために、到達度確認テスト(期末レポート)を実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	図書館サービスの意義と目的	予習：図書館サービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
2.	図書館サービスの機能	予習：図書館サービスの機能について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
3.	パブリックサービスの実際(1)	予習：貸出返却サービス等について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
4.	パブリックサービスの実際(2)	予習：レファレンスサービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
5.	テクニカルサービスの実際(1)	予習：本の収集・装備・保存について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
6.	テクニカルサービスの実際(2)	予習：本の収集・装備・保存について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
7.	公共図書館サービスの変遷	予習：多様化するサービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
8.	図書館サービスの種類と方法	予習：パブリックサービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
9.	資料・情報提供サービス	予習：インターネットの活用について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
10.	利用対象別サービス	予習：利用目的の支援について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
11.	図書館サービスとコミュニケーション	予習：利用者とのコミュニケーションについて(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
12.	図書館サービスと著作権	予習：著作権について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
13.	図書館サービスの協力と連携	予習：他機関との連携について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
14.	図書館サービスの課題と展望	予習：多様化する図書館サービスを考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
15.	図書館サービスのサインシステム	予習：サインシステムを考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
教科書	『図書館サービス概論』現代図書館情報学シリーズ4 高山正也編著 樹村房		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度(10%)小テスト(10%)授業内課題(20%)定期試験(60%)		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科目	情報サービス論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	下川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館における情報サービスの意義と役割について学ぶ 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報サービスの中核となるレファレンスサービスについて、レファレンスツールとしての参考図書やインターネット情報資源を知り、情報サービスの概要について理解する。		
学習成果の評価基準	2回目以降、前回授業内容確認のための「おさらいシート」で復習を行う。 随時課す課題を提出する。 定期試験において6割以上の解答ができる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
2.	図書館における情報サービス	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
3.	情報サービスの種類と展開	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
4.	レファレンスサービスの理論と実際(1)レファレンスの鉄則	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
5.	レファレンスサービスの理論と実際(2)レファレンスインタビュー	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
6.	情報検索サービスの技法(1)データベース、論理演算子	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
7.	情報検索サービスの技法(2)トランケーション、精度と再現率	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
8.	レファレンスツールとその特性(1)レファレンスツールの種類	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
9.	レファレンスツールとその特性(2)参考図書	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
10.	レファレンスツールとその特性(3)ネットワーク情報資源	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
11.	レファレンスツールとその特性(4)ネットワーク情報資源	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
12.	発信型情報サービス	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
13.	情報サービスに関わる知的財産権	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
14.	情報リテラシー	予習：教科書読み込み(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
15.	これからの情報サービス	予習：全体復習(120分) 復習：おさらいシート(120分)	
教科書	竹之内禎(編著)『情報サービス論』学文社 2016年		
参考書	埜納タオ(著)『夜明けの図書館』(全7巻)双葉社 2011年から2021年		
学習成果の評価方法	受講態度(10%) 課題提出(10%) 定期試験(80%)		
特記すべき事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。おさらいシートで毎回フィードバック。定期試験は筆記試験。 担当者は、司書として市立図書館で実務経験を有する。		
質問・相談等の受付	授業終了後教室で行う。		

科目	情報資源組織演習	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	日本目録規則を学び、日本目録規則に則った情報資源の書誌データ作成方法、アクセスポイントの付与方法を、演習形式で実際に目録を作成しながら修得する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	日本目録規則に従って、図書館が所蔵する情報資源の目録を作成できるようになる。 司書としての情報資源組織業務を理解する。		
学習成果の評価基準	单元ごとに小テストで理解度を確認。 定期試験では目録を完成させる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	目録の構成と日本目録規則	予習：情報資源組織論の復習(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
2.	情報資源組織論の目録の部分の復習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
3.	記述構成2(版、出版)	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
4.	記述構成3(形態、シリーズ)	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
5.	記述構成4(注記、標準番号)	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
6.	書誌データ作成演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
7.	標目(アクセスポイント)と典拠	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
8.	タイトル標目と標目指示	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
9.	タイトル標目と標目指示	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
10.	目録データ作成演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
11.	目録データ作成演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
12.	パソコンを用いた目録データ作成演習2	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
13.	国立国会図書館データの利用	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
14.	国立国会図書館データの利用	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
15.	ネットワーク情報資源の組織演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
教科書	なし プリントを配布します		
参考書	『情報資源組織論』榎本由希子ほか 学文社		
学習成果の評価方法	受講態度：10% 授業内小テスト：20% 期末試験：70% 九州大谷Online等でフィードバック		
特記すべき事項	司書資格必修		
質問・相談等の受付	随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	プレゼンテーション	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	プレゼンテーションという言葉についての既存の感覚を打破し、自己理解や自己表現について学ぶ。生活の中で相互の立場を思いやり、自分の想いを伝える術を様々な視点から学ぶ。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	他者からの視点も参考にしながら自己分析を進めることで自己理解を深め、グループ活動においても自分なりの自己表現ができる。 シンプルでビジュアルでストーリーがあるプレゼンテーションを改善しながら編集することができる。 時と場合、対象者と環境に合わせたプレゼンテーションの情報収集と情報分析、およびデータ作成と情報伝達ができる。		
学習成果の評価基準	今までには無かった自己理解と自己表現を具現化し、「準備」と「反復」による自分の変化を実感する事。 受講中の個々のレポートとグループ活動内容を高く評価する。 毎回何かしら「お互いに言葉で伝えあうプレゼント」を交換し慣れていく過程を自分自身が感じているか自己評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション ・ストーリープレゼンテーションとビジュアルプレゼンテーション視聴 ・自己紹介準備シートの作成	予習2時間：プレゼン動画を検索して視聴 復習2時間：本時を振り返る	
2.	エレベーターピッチ(1分間)の自己紹介 ・自己紹介準備シートをもとに、隣同士で自己紹介 ・グループで自己紹介	予習2時間：自己紹介準備シートの作成 復習2時間：本時を振り返る	
3.	グループワーク「過去・現在・未来を語り合う」 ・自己分析シートを作成しグループワーク ・自己紹介スライドの作成について	予習2時間：自己分析シートの作成 復習2時間：本時を振り返る	
4.	プレゼンテーションの基礎知識 ・プレゼンテーションの流れ ・プレゼンテーションのツール	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る	
5.	プレゼンテーションソフトの基礎知識 ・効果的なスライドの作成 ・配布資料の作成	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る	
6.	自己紹介スライドの作成(1) ・スライド4枚程度の自己紹介構成 ・自分を伝える背景画像と言葉	予習2時間：自己紹介準備シート確認 復習2時間：自己紹介スライドの準備	
7.	自己紹介スライドの作成(2) ・画面切り替えとアニメーション ・発表に向けたシナリオとリハーサル	予習2時間：自己紹介スライドの編集 復習2時間：自己紹介スライドや発表の改善	
8.	必要な情報の収集 ・目的の明確化 ・情報の分析	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る	
9.	論理的なストーリーの展開 ・構成と組み立て方法 ・設計シートの作成	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る	
10.	自己紹介スライドの作成(3) ・自己紹介準備シートの再構成 ・自己紹介スライドの再編集	予習2時間：自己紹介スライドの編集 復習2時間：自己紹介スライドや発表の改善	
11.	プレゼンテーション資料の役割 ・視覚に訴えることの重要性 ・様々な表現方法	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る：	
12.	自己紹介スライドの作成(4) ・自己紹介スライドの再編集 ・グループ発表	予習2時間：発表のリハーサルを反復練習 復習2時間：自己紹介スライドや発表の改善	
13.	発表のための技術 ・シナリオの作成 ・発表者の表現力	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る：	
14.	プレゼンテーションの実施 ・配布資料と環境の準備 ・プレゼンテーション実施の手順	予習2時間：教科書を読む 復習2時間：本時を振り返る	
15.	自己紹介スライドの発表 ・自己評価と相互評価レポートの作成と提出 ・互いに動画を収録、プレゼンテーションのまとめ	予習2時間：自己紹介スライド発表の準備 復習2時間：授業全体を振り返る	
教科書	よくわかる自信がつくプレゼンテーション FOM出版		
参考書	適宜、資料配布		
学習成果の評価方法	授業態度(10%)レポート提出(70%)授業内発表(20%) レポートを数単元ごとで回収し、次の授業でフィードバックを行う		
特記すべき事項	日常のひとつの挨拶こそ小さな大切な「プレゼンテーション」である。 プレゼンテーションの素材収集時や作成・編集時は、著作権や肖像権についての確認を必ず行うこと。		
質問・相談等の受付	授業期間中、授業時間にいつでも受け付けます。		

科目	A I ・ データサイエンス入門	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	小田まり子	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	AI (Artificial Intelligence : 人工知能) やDS (Data Science : データサイエンス)の基礎について学び、データやAIを適切に活用する初級レベルの能力を修得する。また、座学の講義を受けるだけでなく、Python (パイソン) のプログラミング演習 (データの可視化、データ解析、AIの機械学習など)を通して、データサイエンスやAIに関する理解を深めることを目指す。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果 (1) に対応する。		
到達目標	(1) データ駆動社会においてAI・数理・データサイエンスを学ぶ意義を理解する。 (2) データを収集・処理・蓄積する技術の概要を理解する。 (3) AI・DSは幅広い分野での社会課題を解決する有用なツールであることを理解する。 (4) PythonによるAI・DSプログラミングの基礎スキルを習得する。		
学習成果の評価基準	期末試験、演習課題レポートの提出により評価する。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	座学講義 ・第 1 章 データサイエンスとは ・第 3 章 情報をめぐる世の中の潮流	予習 : テキストの 1 ・ 3 章を読む (30 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (50 分)	
2 .	AI ・ DS プログラミング演習 : データ ・ 変数 ・ 演算	予習 : ファイルを DL、説明文章を読んでおく (30 分) 復習 : 課題プログラムを作る (50 分)	
3 .	座学講義 ・第 4 章 広がるデータ活用の幅 ・第 6 章 情報倫理とセキュリティ	予習 : テキストの 4 ・ 6 章を読む (5 0 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (50 分)	
4 .	AI ・ DS プログラミング演習 : リスト ・ 配列 ・ 関数	予習 : ファイルを DL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習 : 課題 PGM を作る (各 50 分)	
5 .	座学講義 ・第 7 章 データの種類とその応用 ・第 8 章 データリテラシー	予習 : テキストの 7 ・ 8 章を読む (5 0 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (30 分)	
6 .	AI ・ DS プログラミング演習 : 制御構造 ・ アルゴリズム基礎 ・順次構造 ・ 選択構造 ・ 反復構造 ・ 合計 ・ 最大値を求める	予習 : ファイルを DL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習 : 課題 PGM を作る (各 50 分)	
7 .	座学講義 ・第 9 章 データの収集と視覚化 ・第 10 章 データの解析方法	予習 : テキスト 9 ・ 10 章を読む (50 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (30 分)	
8 .	AI ・ DS プログラミング演習 : データの可視化 データの可視化目的 (比較、構成、分布、変化) に応じた図表化 (折れ線、棒、散布図、円)	予習 : ファイルを DL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習 : 課題 PGM を作る (各 50 分)	
9 .	座学講義 ・第 2 章 AI にサポートされる社会 ・第 5 章 AI 開発の歴史いま	予習 : テキストの 2 ・ 5 章を読む (50 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (30 分)	
10 .	AI ・ DS : データの可視化 要約統計量を出力 : 平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差 フィルタリング処理 ・ ヒストグラム ・ 散布図 ・ 箱ひげ図	予習 : ファイルを DL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習 : 課題 PGM を作る (各 50 分)	
11 .	座学講義 ・第 1 1 章 情報の利活用と方法 ・第 1 2 章 AI による生活のアップデート	予習 : テキスト 11 ・ 12 章を読む (50 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (30 分)	
12 .	AI ・ DS プログラミング演習 : 教師あり学習 機械学習による犬と猫の画像分類	予習 : ファイルを DL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習 : 課題 PGM を作る (各 50 分)	
13 .	座学講義 ・第 1 3 章 AI による社会のアップデート ・第 1 4 章 秩序あるデータの重要性	予習 : テキスト 13 ・ 14 章を読む (5 0 分) 復習 : 講義ノートを読み返す (30 分)	
14 .	AI ・ DS プログラミング演習 : 教師なし学習 K-means 法によるクラスタリング	予習 : ファイルを DL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習 : 課題 PGM を作る (各 50 分)	
15 .	座学講義 ・第 1 5 章 これからの学びにむけて (まとめ)	予習 : テキスト 15 章を読む (50 分) 復習 : 総復習 (60 分)	
教科書	大学基礎「データサイエンス」・プログラミング演習の回は資料を配布する		
参考書	授業中に紹介する。		
学習成果の評価方法	期末試験 (40 %)、課題レポートと演習課題プログラムの提出 (60 %) を目安として評価する。		
特記すべき事項	座学形式の授業とプログラミングの演習を交互に実施する。		
質問・相談等の受付	質問は電子メールで送ってください。 mari@kurume-it.ac.jp		

科目	IT経営論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 4単位
授業概要	ITパスポート試験の対策を通して、情報処理に関する知識を学ぶ。主に以下の3つの内容を学ぶ。 (1) 企業活動や経営戦略に関する知識 (2) 情報システムの開発や運用に関する知識 (3) コンピュータシステムやネットワーク、情報セキュリティ等に関する知識 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報社会で働くすべての社会人に必要な情報技術に関する基本的知識を習得する。 ITパスポート試験に合格する。		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 専門用語の暗記ではなく、具体的な企業活動の中で、情報システムがどのような役割を果たしているかを理解している。 自分のキャリアや将来像を考えながら、情報処理に関する知識を意欲的に学ぼうとする。 ITパスポート試験の可否は成績評価には反映しません。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション (ITパスポート試験の概要)	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
2.	企業活動の基本	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
3.	企業活動の基本	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
4.	企業活動のルール・法律	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
5.	企業活動のルール・法律	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
6.	企業活動についてのまとめ・小テスト	予習: 小テスト対策(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
7.	経営戦略	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
8.	経営戦略	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
9.	企業や社会で使われているシステム	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
10.	企業や社会で使われているシステム	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
11.	経営戦略に関するまとめ・小テスト	予習: 小テスト対策(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
12.	システム開発のプロセス	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
13.	プロジェクトマネジメント	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
14.	サービスマネジメント	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
15.	システム監査	予習: 教科書を読む(2時間) 復習: 本時を振り返る(2時間)	
教科書	よくわかるマスター 令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 FOM出版		
参考書	特になし 適宜、資料を配布する		
学習成果の評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、模擬試験(30%)		
特記すべき事項	ITパスポート試験の詳細については授業中に案内を行う(受験申込は各自で行うこと)		
質問・相談等の受付	授業期間中は、授業時間の前後でもいつでも受け付ける		

科目	IT経営論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 4単位
授業概要	ITパスポート試験の対策を通して、情報処理に関する知識を学ぶ。主に以下の3つの内容を学ぶ。 (1) 企業活動や経営戦略に関する知識 (2) 情報システムの開発や運用に関する知識 (3) コンピュータシステムやネットワーク、情報セキュリティ等に関する知識 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報社会で働くすべての社会人に必要な情報技術に関する基本的知識を習得する。 ITパスポート試験に合格する。		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門用語の暗記ではなく、具体的な企業活動の中で、情報システムがどのような役割を果たしているかを理解している。 ・ 自分のキャリアや将来像を考えながら、情報処理に関する知識を意欲的に学ぼうとする。 ITパスポート試験の合格は成績評価には反映しません。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	システム開発に関するまとめ・小テスト	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
17.	基礎理論	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
18.	基礎理論	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
19.	プログラミングとアルゴリズム	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
20.	コンピュータシステムの構成	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
21.	コンピュータシステムの構成	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
22.	基礎理論とシステムについてのまとめ・小テスト	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
23.	表計算ソフトの技術	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
24.	データベース	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
25.	コンピュータネットワーク	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
26.	コンピュータネットワーク	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
27.	情報セキュリティ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
28.	情報セキュリティ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
29.	ネットワーク・セキュリティについてのまとめ・小テスト	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
30.	ITパスポート模擬試験と解説	予習：模擬試験対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
教科書	よくわかるマスター 令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 FOM出版		
参考書	特になし 適宜、資料を配布する		
学習成果の評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、模擬試験(30%)		
特記すべき事項	ITパスポート試験の詳細については授業中に案内を行う(受験申込は各自で行うこと)		
質問・相談等の受付	授業期間中は、授業時間の前後でもいつでも受け付ける		

科 目	インターネットリテラシー	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	私たちの生活に欠かせないインフラとなっているインターネットについて、歴史、思想、文化、技術、社会、経済、法制度、国際関係等様々な観点から論じる。また、インターネットの発展とともに生じている様々な問題点をとりあげ、どう対処すべきか考える。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	インターネットを正しく的確に使いこなせる インターネットに支えられている社会を理解する 未来の社会への想像力をもつ		
学習成果の評価基準	各回のプリントの確認と、3回のレポート提出によって評価を行う		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	インターネット以前の通信	復習：プリント完成(60分)	
2 .	インターネットの起源	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
3 .	情報のデジタル化とインターネット	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
4 .	ネット回線の高速化	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
5 .	インターネットを支える基本技術	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
6 .	Web2.0	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
7 .	IoTとビッグデータ	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
8 .	データ駆動型社会	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
9 .	インターネットと巨大プラットフォーム	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
10 .	インターネットと分断	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
11 .	Web3	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
12 .	インターネットと個人情報	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
13 .	インターネットとAI	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
14 .	インターネットと著作権	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
15 .	インターネットを廻る国際対立	予習：配付資料読込(60分) 復習：プリント完成(60分)	
教科書	プリント配布		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(25%) レポート(75%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	随時受け付ける Gmailでも可(sakagawa@kyushuotani.online)		

科目	グラフィックデザイン	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	吉本暢子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	図形や画像データを扱うグラフィックソフトウェアIllustratorとPhotoshopの基本操作の習得。 書籍の紹介やイベント告知等のグラフィックをIllustratorとPhotoshopで制作する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	基本操作から実践活用。 前期：基本操作を習得する。		
学習成果の 評価基準	○「知識・理解・技能の評価基準」 基本操作の習得。IllustratorとPhotoshopの違いと概要をつかむ。 ○「講義態度の評価基準」 課題や問題を見つけ積極的に解決工夫できる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	Illustratorの基本 Illustrator(1)基本操作 ツール・パネル・保存形式		
2.	Illustrator(2)基本操作 レイヤー・ガイド 図形を描く(直線ツール・図形ツール・図形の編集)	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
3.	Illustrator(3)基本操作 自由な形を描く(ペンツール・ブラシツール)	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
4.	Illustrator(4)基本操作 文字(文字ツール・文字の編集)	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
5.	Illustrator(5)基本操作 色の指定(カラーパネル・グラデーション)	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
6.	Illustrator(6)基本操作 オブジェクトのサイズ変更と複製・並べ方	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
7.	Illustrator(7)基本操作 画像を配置・切り抜き	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
8.	Illustrator(8)総合練習	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
9.	Illustrator(9)総合練習	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
10.	Illustrator(10)総合練習	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
11.	Illustrator(11)総合練習	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
12.	Photoshop(1)基本操作 ツール・パネル・保存形式 ヒストリー カラーモードと解像度	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
13.	Photoshop(2)基本操作 レイヤーマスクと切り抜き・グラデーションマスク	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
14.	Photoshop(3)基本操作 画像の色調補正(調整レイヤー)	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
15.	Photoshop(4)基本操作 簡単補修(修復系ツール) 細部補修(手動)	教科書を読む(予習30分)前回の復習(復習30分)	
教科書	デザイン初心者のためのPhotoshop illustrator		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(60%)		
特記すべき 事項	欠席が続けば習得が難しくなります。できるだけ欠席がないように心がけてください。		
質問・相談 の受付			

科 目	グラフィックデザイン	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	吉本暢子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	視覚情報伝達ための効果的なグラフィックを制作できる基本ソフト・イラストレーターとフォトショップ（画像調整など）の習得。 前期で習得した操作方法に基づき目的にあったグラフィックを制作、印刷原稿として完成させる。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（2）に対応する。		
到達目標	地域の魅力を伝えるポスター、DM、フライヤーの制作を積極的に行うことができる。		
学習成果の評価基準	○「知識・理解・技能の評価基準」 内容やニーズに合ったデザイン表現を適切な操作方法で制作できる。 ○「講義態度の評価基準」 課題を制作時に問題を見つけ積極的に解決工夫できる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	Photoshop（5）基本操作 オブジェクトの選択（自動選択・パス）	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
2 .	Photoshop（6）基本操作 文字（ポイントテキスト・段落テキスト）	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
3 .	Photoshop（7）基本操作 レイヤーとスマートオブジェクト・描写モード	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
4 .	Photoshop（8）総合練習	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
5 .	Photoshop（9）総合練習	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
6 .	Photoshop（10）総合練習	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
7 .	地域の魅力を伝えるポスター（1）デザインコンセプト、制作方法、制作日程を決め。	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
8 .	地域の魅力を伝えるポスター（2）IllustratorとPhotoshoで制作	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
9 .	地域の魅力を伝えるポスター（3）IllustratorとPhotoshoで制作	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
10 .	地域の魅力を伝えるポスター（4）IllustratorとPhotoshoで制作	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
11 .	地域の魅力を伝えるポスター（5）IllustratorとPhotoshoで制作	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
12 .	地域の魅力を伝えるポスター（6）IllustratorとPhotoshoで制作	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
13 .	地域の魅力を伝えるポスター（7）IllustratorとPhotoshoで制作	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
14 .	地域の魅力を伝えるポスター（8）Photoshoで制作 提出用データ作成	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
15 .	地域の魅力を伝えるポスター（9）合評	教科書を読む（予習30分）前回の復習（復習30分）	
教科書	デザイン初心者のためのPhotoshop illustrator		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度（40%） 授業内課題（60%）		
特記すべき事項	欠席が続けば習得が難しくなります。できるだけ欠席がないように心がけてください。		
質問・相談の受付			

科目	ウェブデザイン	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	池田雄一郎	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	<p>ウェブページの開発から運営までの必要な基礎的知識・技術に関して修得する。 作成したウェブページのインターネット上での展開方法やウェブサイト運用の要点、著作権など 必要な知識について理解する。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページ構築に必要なHTML・CSSなどの言語を理解する。 ・コーディングツールを活用して、ウェブページの構築ができるようになる。 ・著作権・セキュリティなどの周辺知識も含めたウェブサイト管理に必要な基礎的知識を身に付ける。 		
学習成果の 評価基準	<p>最終課題にて評価する。以下の3点を主な評価観点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切なHTML・CSSのコーディングがなされているか ・レスポンシブデザインとなっているか ・ウェブページの開発から運営までの必要な基礎的知識を理解しているか 		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション(授業内容の説明, Webについて)	予習: シラバスを読んでおく(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
2.	環境説明・HTMLにて簡易的なページを構築	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
3.	画像、表などの実装	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
4.	階層構造, セキュリティ, 著作権に関して	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
5.	中間課題1(簡易的ページを作成する)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 中間課題1の完成(120分)	
6.	CSSによるデザイン実装(フォントサイズ・色など)	予習: 中間課題1の完成(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
7.	CSS(class/idなど)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
8.	CSS(margin/padding)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
9.	CSS(block / inline要素など)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
10.	CSS(div要素/ borderなど)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
11.	中間課題2(cssを実装したページを作成する)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 中間課題2の完成(120分)	
12.	レスポンシブデザイン(メディアクエリ)	予習: 中間課題2の完成(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
13.	レスポンシブデザイン(相対表現)	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
14.	最終課題(サーバへのアップロード) アップロードを希望する場合、13回目に指示したサーバ契約を完了しておくこと	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 最終課題の完成(120分)	
15.	最終課題	予習: 前回の内容の復習(120分) 復習: 今回の内容の復習(120分)	
教科書			
参考書	適宜指示する。		
学習成果の 評価方法	小テスト(5%x2) 中間課題1(10%) 中間課題2(20%) 最終課題(60%)		
特記すべき 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のPC(Windows)を用いて実施。 ・教室のPCからデータのバックアップを行う手段(クラウドサービス・USBメモリなど)を用意。 		
質問・相談等 の受付	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の内容に対する対応は授業中のみとなります。(非常勤のため) ・その他の質問は授業中にお知らせするメールアドレスまでお願いいたします。 		

科 目	ウェブデザイン	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	池田雄一郎	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	ウェブデザイン から引き続きWebページの開発から公開までに必要な知識・技術について演習を通して実践的に学修する。ウェブデザイン ではウェブデザインのHTML及びCSSのコーディングに加え javascriptによるインタラクティブ表現を組み合わせて、多様な表現に応じたウェブページ編集を実践的に学び、制作課題に応じた表現力豊かなウェブサイトを作成する。そのほか、CMS(Contents Management System)を用いたWebサイト構築を学ぶ。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Webページ構築に必要なHTML, CSS, JavaScriptなどの内容を理解し、設計通りのページを構築できる知識・技術を習得すること。 ・HTML及びCSSのコーディングに加え JavaScriptによる表現力豊かなウェブサイトを作成する。 ・ウェブサイトに必要な静止画・映像などのコンテンツを作るための基礎を理解する。 ・CMSを用いてWebサイトの編集ができる。 		
学習成果の評価基準	<p>最終課題にて評価する。以下の3点を評価観点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計(仕様書)に沿ったWebページを構築できているか ・JavaScriptによって動的なページとなっているか ・Web標準に準拠しているか 		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション(授業内容の説明)	予習：シラバスを読んでおく(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
2 .	ウェブデザインの復習(HTML)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
3 .	ウェブデザインの復習(CSS)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
4 .	JavaScriptの実装1(ライブラリの導入)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
5 .	JavaScriptの実装2(インタラクティブ要素)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
6 .	JavaScriptの実装3(動的なページの構築)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
7 .	CMS(Contents Management System)の導入	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
8 .	CMS(Contents Management System)の実践 8回に指示したリンク先から必要な素材やアプリをダウンロードしておくこと	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
9 .	リッチコンテンツの制作(動画編集)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
10 .	リッチコンテンツの制作(ベクター画像)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
11 .	リッチコンテンツの制作(ラスター画像)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
12 .	最終課題(サイト設計)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
13 .	最終課題(サイト設計)	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
14 .	最終課題(サイト構築) 次回の発表会にて自身のページを1分程度で紹介する。	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
15 .	発表会及び相互評価	予習：前回の内容の復習(120分) 復習：今回の内容の復習(120分)	
教科書			
参考書	適宜指示する。		
学習成果の評価方法	小テスト10%, 課題20%, 最終課題60%, 鑑賞会の発表 10%		
特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のPC(Windows)を用いて実施。 ・教室のPCからデータのバックアップを行う手段(クラウドサービス・USBメモリなど)を用意。 		
質問・相談等の受付	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の内容に対する対応は授業中のみとなります。(非常勤のため) ・その他の質問は授業中にお知らせするメールアドレスまでお願いいたします。 		

科 目	プログラミング基礎	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人工知能やビッグデータの解析によく使われているプログラミング言語「Python」を使ってプログラミングの基本を学ぶ。また、人工知能ライブラリを使用して、簡単な人工知能アプリを作成してみる。 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	Pythonで基本的なプログラムが作成できるようになる。 人工知能について体験することにより理解を深める。 プログラミングを通して論理的思考を身につけ司書の業務に役立てる。		
学習成果の 評価基準	単元ごとにPythonのコードをチェックして理解の確認 手書き数字を認識するAIプログラムを作成		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	Pythonとは何か	予習：教科書p14～41(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
2 .	簡単なプログラムの作成	予習：教科書p42～53(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
3 .	プログラムで絵を描く	予習：教科書p54～60(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
4 .	変数とデータの型	予習：教科書p61～71(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
5 .	文字列操作とデータ型の変換	予習：教科書p72～83(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
6 .	リストの書き方	予習：教科書p84～89(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
7 .	反復と条件分岐	予習：教科書p90～105(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
8 .	関数とモジュールの使用	予習：教科書p106～118(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
9 .	簡単なアプリの作成	予習：教科書p119～129(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
10 .	画像表示アプリの作成	予習：教科書p130～143(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
11 .	画像表示アプリの改造	予習：教科書p144～150(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
12 .	人工知能とは	予習：教科書p151～161(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
13 .	機械学習に挑戦	予習：教科書p162～175(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
14 .	人工知能アプリを作る	予習：教科書p176～179(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
15 .	人工知能アプリを成長させる	予習：教科書p180～189(60分) 復習：再読と再実行(60分)	
教科書	『Python 1年生』 第2版 森巧尚 翔泳社		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度：30% 授業内課題：70%		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の 受 付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	デザイン論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	デザイン思考の出発点である観察力、共感力を高め、わかりやすいコンセプトを整理できるようになることを目的とします。ユーザー視点で課題を捉え、文章でコンセプトをまとめることは、表現を行なっていく上で重要なスキルになります。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(7)に対応します。		
到達目標	デザイン思考を獲得し、自ら課題の発見及び表現の手段として新しいアイデアを生み出しができるようになる。		
学習成果の評価基準	積極的に取り組む姿勢を「授業態度」の評価とする。技能の達成度を測るために「最終成果物」において評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について ルーティンワーク「今日の写真1枚」	予習30分: シラバスを見ておく 復習30分: 写真での表現を試す	
2.	ワークショップの型について学ぶ ワークショップの体験を行う	予習30分: 日常で気になる話題を探す 復習30分: ワークショップの心構えを理解する	
3.	ユーザー視点における整理の方法を学ぶ	予習30分: 自分が持つ本を探す 復習30分: さまざまな考え方を学ぶ	
4.	体験を可視化する(感情曲線を描く)	予習30分: 自分が一番使う時間を考える 復習30分: 自らの感情を意識する	
5.	ジャーナリスト取材体験1	予習30分: インタビュー記事を探す1 復習30分: ワークショップを振り返る	
6.	ジャーナリスト取材体験2	予習30分: インタビュー記事を探す2 復習30分: ワークショップを振り返る	
7.	KJ法について学ぶ	予習30分: 配布資料を読んでおく 復習30分: まとめ方を覚える	
8.	写真KJ法の体験	予習30分: 配布資料を読んでおく 復習30分: まとめ方を覚える	
9.	共感マップの作り方の実践	予習30分: 配布資料を読んでおく 復習30分: ワークショップを振り返る	
10.	企業から学ぶ言葉の作り方 コンセプトを短い文章にしてみる	予習30分: 企業のビジョンを探す 復習30分: 自分のパーパスを言語化する	
11.	ワーク「20歳の自分と未来の自分を想像する」	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: 視点、切り口を意識する	
12.	フィードバックの実践を行う	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: フィードバックを復習する	
13.	ワークをブラッシュアップする	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: 課題ブラッシュアップをする	
14.	添削によってワークをブラッシュアップする	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: まとめをおこなう	
15.	知識と学習のまとめ及び発表	予習30分: 学びを振り返る 復習30分: 授業を振り返る	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書	随時提供		
学習成果の評価方法	講態度(50%)、最終成果物(50%)		
特記すべき事項	デザイン企画会社を10年以上経営している。		
質問・相談等の受付	チャットツール(GoogleChat)随時質問を受け付け可能。		

科 目	基礎演習	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	坂川和彦・梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	大学の授業（講義・演習）を受講し、単位を取得するために必要なスキルを学習する。聴く、読む、書く、調べる、整理する、まとめる、表現する、伝える、考える力を身につけ、レポートを作成できるようになることを目標とする。また、保育園で読み聞かせの実践を行う。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（6）に対応する。		
到達目標	情報を収集し、整理し、読み、分析し、パソコンを使ってレポートを書けるようになる。保育園児の前で読み聞かせができるようになる。		
学習成果の評価基準	授業の中で、単元に応じた課題や、読み聞かせの練習を課す。まとめのレポートを提出する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	スタディスキルとは	予習：大学の授業について（30分） 復習：授業振り返り（30分）	
2 .	ノートの取り方	予習：ノートの取り方について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	テキストの読み方	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	書くための読み方	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	読み聞かせ図書の選定と練習	予習：絵本の選定（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	読み聞かせ会の予行演習	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	保育所での読み聞かせ会	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	情報収集	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .	収集した情報の整理	復習：配付資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
10 .	レポートの作成手順	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11 .	わかりやすい文章の書き方	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12 .	パソコンを使ったレポートのまとめ方	予習：文章を書いておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13 .	卒業研究中間発表会に参加	予習：レジュメを読んでおく（30分） 復習：発表会の振り返り（30分）	
14 .	わかりやすいプレゼンテーション	予習：文章を書いておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15 .	まとめ	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	授業内課題：60% レポート：40%		
特記すべき事項	教員2人で担当する。		
質問・相談等の受付			

科目	基礎演習	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	地域の魅力づくり、課題解決に実際に取り組んでいる自治体、地域に出向き成功事例や失敗事例を学ぶ。2日間のフィールドワークを行い、現地でのインタビューや意見交換を行う。本科目での学びを通して、筑後市の魅力づくり、課題解決に向けた学び（「筑後の魅力」）の充実を図る。実施日は、9/12（木）～9/13（金）訪問地は、阿蘇、うきは、日田等から選出する。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果（6）に対応する。		
到達目標	地域の魅力づくり、課題解決に向けた事案に対して、自ら主体的に関わり考察することができる（主体性）情報を整理し、課題解決に向けたプロセスを思考することができる（思考力）		
学習成果の評価基準	フィールドワークにおける主体的な関わり姿勢（主体性）と事案のまとめ、発表（プレゼンテーション）を通して思考力と判断力を評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	予習：シラバスを読んでおく（30分） 復習：内容を振り返る（30分）	
2.	フィールドワーク、地域の魅力と課題解決についての取り組み方法	予習：地域の魅力を事前調査（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
3.	フィールドワーク、地域の魅力と課題解決についての取り組み方法	予習：地域の魅力を事前調査（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
4.	フィールドワーク、地域の魅力と課題解決についての取り組み方法	予習：地域の魅力を事前調査（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
5.	フィールドワーク、地域の魅力と課題解決についての取り組み方法	予習：地域の魅力を事前調査（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
6.	発表資料作成（地域の魅力と課題解決策）	予習：プレゼン媒体の準備（30分） 復習：資料の確認（30分）	
7.	発表資料作成（地域の魅力と課題解決策）	予習：プレゼン媒体の準備（30分） 復習：資料の確認（30分）	
8.	班別プレゼンテーション、意見交換、問題提議	予習：プレゼン資料の読み込み（30分） 復習：意見のまとめ（30分）	
9.	班別プレゼンテーション、意見交換、問題提議	予習：プレゼン資料の読み込み（30分） 復習：意見のまとめ（30分）	
10.	フィールドワーク、課題解決に向けた取り組み事例研究	予習：事例研究の下調べ（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
11.	フィールドワーク、課題解決に向けた取り組み事例研究	予習：事例研究の下調べ（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
12.	フィールドワーク、課題解決に向けた取り組み事例研究	予習：事例研究の下調べ（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
13.	フィールドワーク、課題解決に向けた取り組み事例研究	予習：事例研究の下調べ（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
14.	フィールドワーク、課題解決に向けた取り組み事例研究	予習：事例研究の下調べ（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
15.	フィールドワーク、課題解決に向けた取り組み事例研究	予習：事例研究の下調べ（30分） 復習：調査内容をまとめる（30分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（60%）プレゼンテーション（40%）		
特記すべき事項	現地での1泊2日の集中講義。実施要項、行程表は後日提示する。現地へは大学から貸し切りバスで移動。実務家教員（サンカクキカク代表・宇佐川桂吾）		
質問・相談等の受付			